Creative Enzymes®

フルクトキナーゼ

Cat. No. EXWM-3069

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	フルクトキナーゼ（D-フルクトキナーゼまたはD-フルクトース（D-マンノース）キナーゼとも呼ばれる）は、肝臓、腸、腎皮質に存在する酵素（EC 2.7.1.4）です。フルクトキナーゼは、機能基を転送する酵素群であるトランスフェラーゼの一種であり、特にリン酸基を転送するため、リン酸転移酵素（または、しばしばキナーゼ）とも見なされます。フルクトキナーゼは、ATP（基質）からフルクトースへのリン酸基の転送を触媒する最初のステップとして機能します。フルクトキナーゼの主な役割は、炭水化物代謝、より具体的には、スクロースとフルクトースの代謝にあります。反□式は次のとおりです：ATP + D-フルクトース = ADP + D-フルクトース 6-リン酸。この反□は、ほとんどの組織ではヘキソキナーゼ（EC 2.7.1.1）によって触媒されるため、注目に値します。
別名	フルクトキナーゼ（リン酸化）；D-フルクトキナーゼ；D-フルクトース（D-マンノース）キナーゼ

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 2.7.1.4
CAS登□番号	9030-51-7
反□	ATP + D-フルクトース = ADP + D-フルクトース 6-リン酸
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。お客□の仕□に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。